

山陰海岸国立公園



国立公園とは

国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然公園法に基づいて国が指定するものです。

北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで35の国立公園が指定されており、年間3億人以上が利用しています。国立公園内は、自然の絶景だけではなく、野生の動植物、歴史文化などの魅力の宝庫です。日本の国立公園は、森林、農地、集落など多様な環境が含まれていることが特長です。ほとんど手つかずの自然が残されているところがある一方で、自然と人の暮らしが織りなす地域の歴史や文化にふれることができます。

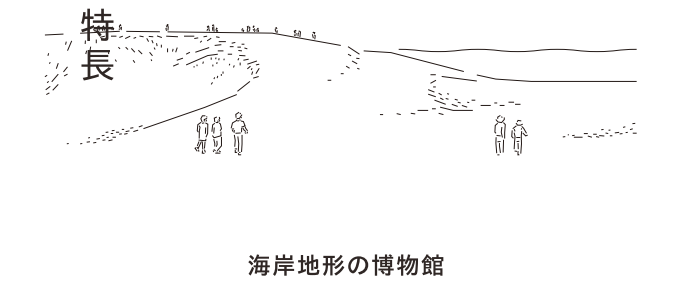
是非、実際に国立公園を訪れ、四季折々に変化する日本の美しい自然を満喫してください。



山陰海岸国立公園の特色ある景観を形成する海岸は主として岩石海岸です。日本海の荒波と季節風による侵食・風化により、海食崖、海食洞、岩礁などが著しく発達し、海岸線は複雑に入り組んだリアス海岸（沈水海岸）となっています。また、その岩石は種類が豊富で多様な地質構造を持つため、特異な地形を随所で形成します。岩石海岸と対照的な景観となっている砂浜海岸は、海食で生じた砂や河口から運ばれた砂により形成され、代表的な鳥取砂丘では砂の移動に起因する特異な景観を作り出しています。地質は、玄武岩・安山岩・流紋岩などの火山岩（節理の発達したものが各所に見られる）や火山砕屑岩と礫岩・砂岩・泥岩などの堆積岩を主とし、一部では花崗岩も見られます。このような岩石が作り出す地層の重なり、不整合、岩脈節理などの多様な産状や地質構造も山陰海岸国立公園で見ることができます。

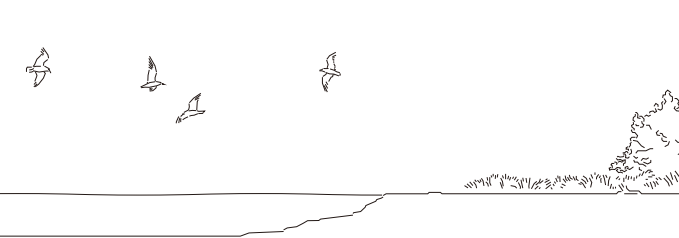
| 鳥取砂丘

鳥取砂丘は、東西16km、南北2.4kmに広がる日本最大級の砂丘です。中国山地から流れ出た砂が、川と海に運ばれ、風に吹き上げられてできました。砂と風が作り出す美しい模様（風紋）や、凹地形のスリパチなどが見られ、変化や起伏に富んだ独特の地形が鳥取砂丘の魅力です。



海岸地形の博物館

山陰海岸国立公園は、東は京都府京丹後市から西は鳥取県鳥取市に至る約75kmの海岸部が指定されています。山地が直接海に接するリアス海岸（沈水海岸）で、海食崖、海食洞、岩礁などが著しく発達し、海域と一体となった変化に富む海岸景観が特色となっています。その一方で、海食や河口から運ばれた砂により形成された鳥取砂丘に代表される開放的な砂丘の景観も特色となっています。このようにこの国立公園では特異な地形が随所で見られ、また、これらの地形はさまざまな岩石から成っていることから「海岸地形の博物館」とも呼ばれています。平成22年には山陰海岸国立公園を中心とする「山陰海岸ジオパーク」の世界ジオパークネットワークへの加盟が認定され、山陰海岸の重要性が世界的にも認められています。



| 多鯨ヶ池

鳥取砂丘の南側に位置し、周囲約3.4km、湖水面積約0.23km²の天然の池です。湖面は海面より約16m高く、最大深度は約17m。この池には、多鯨ヶ池の主の白蛇に関する「お種伝説」が伝わっています。

| 浦富海岸

全長15kmの岩石海岸で、断崖絶壁と松を抱いた大小の島々や岬に囲まれた“白砂青松”の景勝地『浦富八景』と称賛されています。

| 千貫松島

網代港のすぐ北方海上に浮かぶ花崗岩の小さな島です。寛文年間（今から約300年前）には頂上にはみごとな松が生えていて、鳥取藩2代目藩主の、池田綱公が「我が庭にこの岩つきの松を移した者に、銀千貫を与えよう」と言われたことが、名前の由来と言われています。



生物文化

ニホンジカ、イノシシなどの大型哺乳類を始め、キツネ、タヌキ、トウホクノウサギなどの中型哺乳類などの多くの動物が生息しています。また、猫崎半島は渡り鳥の重要な中継地となっており、渡りの季節には数多くの鳥を見ることができます。さらに、円山川流域は、一度は絶滅したコウノトリの野生復帰の場となっています。

植物

落葉広葉樹の二次林が多く、わずかに島や岬、社寺境内のごく一部分に照葉樹林からなる原生的な森が残されています。鳥取砂丘・丹後砂丘をはじめとする砂丘地帯ではコウボウムギ、ハマニガナ、ハマゴウ、ハマボウフウなどの海浜植物を見ることができます。また、丹後砂丘で見られるトウテイランは大変珍しい植物です。



| 鎧の袖

香住海岸の西部に位置する高さ65m・長さ200m、傾斜角70度で切り立った大海食崖で、国の天然記念物にも指定されています。柱状節理と板状節理が交わり、鎧の袖にみえることから名付けられました。

| はさかり岩

竹野海岸の波食岩礁地帯の海岸線に位置し、礫岩の地層にそってできた洞門です。海食洞の天井の岩が落ちて洞側壁の岩に挟まってできたと考えられ、兵庫県の名勝に指定されています。

| 猫崎半島

兵庫県最北端にあり、沖から見ると猫がうずくまっているように見えます。本来は島だったものが、川から運ばれた砂礫によって陸続きになったもので、東側には砂浜（竹野浜）が広がっています。西側は日本海の荒波で削られた波食棚が見られ、そこでは波と礫により削られてきたポットホールを見ることができます。



海にすむ生き物

沿岸部では、対馬暖流の影響を受け、南方系の魚類や小動物を比較的多く見ることができます。また、ウミウシやアメフラシといった軟体動物も数多く生息しています。海の透明度が高い山陰海岸国立公園では、藻場の美しさも魅力のひとつであり、すばらしい海中景観を楽しむことができます。

文化景観

陸域では、瓦屋根の漁村集落とその背後の急崖地がつくり出す日本海沿岸独特の景観を各地の湾奥部で見ることができます。また、志賀直哉をはじめとした数々の文豪が訪れたことで知られる城崎温泉では、柳の揺れる情緒豊かな風景を楽しむことができます。鳥取砂丘周辺で見られるラッキョウ畑もこの国立公園の特徴的な景観です。



| 玄武洞

国の天然記念物にも指定されており、約160万年前に起こった火山活動によりできた玄武岩の美しい柱状節理や板状節理を見ることができます。玄武岩の名はこの玄武洞に由来しています。

| 久美浜湾

約2万年前の最終氷期が終わり海面が上昇した際に形成された砂州によって日本海と隔てられ、久美浜湾ができました。現在は湖岸延長約28km、湊地区大向水道（幅約50m）で日本海とつながっています。

| 兜山

久美浜湾の南東にそびえる標高191mの円錐形をした山。流紋岩の溶岩からできており、周囲ではそろばん玉石とよばれる鉱物が産出します。山頂には熊野神社がまつられ、御神体として崇められています。



取り組み

鳥取砂丘景観復元事業

鳥取砂丘では、砂の移動が弱まったことなどにより本来砂丘に生育していた植物以外の植物の進入が著しく、これによってさらに砂の移動が抑えられ、砂丘特有の風紋などが見られなくなるなど砂丘独特の景観が損なわれてきていました。そこで、鳥取県、鳥取市が中心となり、除草作業を行っています。現在では砂の移動がよみがえり文字どおり「生きた砂丘」に戻りつつあります。

パークボランティア

国立公園において、自然観察会などの解説活動や美化清掃、利用施設の簡単な維持修理などの各種活動について、自発的に協力していただける方々を環境省がパークボランティアとして登録しています。山陰海岸国立公園のパークボランティアは、主に竹野スノーケルセンターを活動拠点とし、海岸清掃、自然情報収集、生物生息状況調査を行い、訪れる方に山陰海岸国立公園の魅力を伝えていきます。



国立公園の利用上のマナー

多くの方々に楽しく利用していただくために、国立公園内では自然を大切にすることを心がけ、次のことを守ってください。

- ゴミを捨てないでください
- 花や植物を採らないでください
- 野生動物に餌を与えないでください
- 動物を獲らないでください
- 歩行中禁煙
- たき火は指定の場所で行いましょう
- 鳥取砂丘の利用に関するお願い

美しい砂丘の景観と自然を守り、みんなで気持ちよく利用するために砂丘内では次のことに注意して下さい。

- 車、オートバイなどの乗り入れは行わない。
- 砂を持ち出さない。
- 砂丘の斜面などに文字や絵を描かない。
- ペットを放さない。
- ゴミを捨てない。
- 花火を行わない。
- キャンプ場以外でのキャンプは行わない。
- 他のお客様の迷惑になる行為は行わない。